

薬の販売にも時の流れが

客員 相談役 藤井 基之



幕末に近藤 勇らとともに新撰組を組織し、京の町で鬼の副長として名をはせた土方歳三という人がいます。戊辰戦争で官軍との戦いに敗れ、近藤が捕らえられて斬首された後も、会津若松に移って会津藩とともに戦い、会津が敗れると、今度は榎本武揚とともに函館五稜郭に立てこもり、最後の最後まで官軍と戦い続けて死んだという兵です。政局がちよつとガタガタすると、風向きを都合よく読んですぐに逃げ出すという昨今のどこかの政治家に、彼の性根を薬にして飲ませたいくらいです。

それはさておき、実は土方歳三は新撰組に入隊する前、薬の行商をしていたそうです。司馬遼太郎の『燃えよ剣』とい

う小説に土方の行商時代が描かれていますが、紺手拭いで頬かむり、着物の裾を尻からげ、股引をはいて薬箱を担ぎ、江戸はおろか甲州（山梨）、相州（神奈川県）の村々、町々で薬を売り歩いてきたそうです。その際、剣道の道具も一緒に担いで歩き、各地の道場を訪れては剣の腕を磨いたのだとか。

売っていた薬は土方家伝の「石田散薬」というもので、河原や田んぼの脇に群生する牛革草（ミタデ科のミゾソバ）という草が原料で、これを土用の丑の日に採り、干して乾燥させて黒焼きにし、薬研で粉碎して散薬にした内服薬だそうです。現在は市販されていませんが、効能は「接骨や打ち身、捻挫、筋肉痛、ま

た切り傷」。長州、土佐などの勤皇の志士二十数人を殺傷した池田屋の変の後、負傷した新撰組の隊士に飲ませたらよく効いたそうだと、司馬遼太郎は書いています。

行商による薬の販売は、昔はよくあったそうです。明治時代には「毒消しはいらんかねえ、越後の薄荷はどうかねえ」とか、「カーラスマー、ホンケービワヨウ（烏丸、本家枇杷葉湯）」、あるいは「ガマの油売り」など。昭和初期には林芙美子の『浮雲』などに出てくる、アコーディオンを弾いて「オイッチニイ、オイッチニイ、日本一のおか製剤は、親切善意を旨となし、はい、オイッチニイ、オイッチニイ。病の根を掘り、薬をたず

ね、その効験を確かめて、春夏秋冬へだてなく貧夫の人にも施薬せん。オイッチニイの薬を買いなされ、はい、オイッチニイ、オイッチニイ」と歌いながらの薬売り等々。

さて、医薬品の販売は今日では薬事法によって厳しく規制されていますが、その販売規制が今年の六月から改正されることになり、医薬品の小売業界で話題になっています。医薬品の小売業態は、これまでの薬事法では薬局の他、一般販売

業、薬種商販売業、配置販売業（置き薬）などがありました。改正後は薬局、店舗販売業、配置販売業と変わります。また、医薬品を専門的知識を持って販売する「登録販売者」という制度ができ、その試験に六万人が受験し、四万人合格しました。インターネットによる通信販売などの自由化も話題となりましたが、今回は作用の弱い消化剤など一部の医薬品に限って認められることとなりました。

日のインターネットによる薬販売まで、医薬品の販売にも時の流れがあります。しかし、大事なことは有効性に優れた薬を正しく、その医薬品の持つ副作用などの情報もきちんと知った上で上手に使用することです。どんなに美味しいお料理でも、食べすぎは体によくありません。薬も料理も適量を心掛けることが大切です。

いにしえの行商による薬売りから、今

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfuji.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師

私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何か必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

活動報告

参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

経歴

- 昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
- 昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
- 昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
- 昭和44年 厚生省入省
- 平成9年 厚生省退官
- 平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団専務理事
- 平成12年 日本薬剤師連盟副会長
社団法人 日本薬剤師会常務理事
- 平成13年 参議院議員
- 平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
- 平成19年 日本薬剤師連盟顧問

その他

- 昭和大学薬学部 客員教授
- 共立薬科大学 客員教授
- 東邦大学薬学部 客員教授
- 新潟薬科大学 客員教授
- 千葉大学薬学部 非常勤講師
- 京都薬科大学 客員教授